

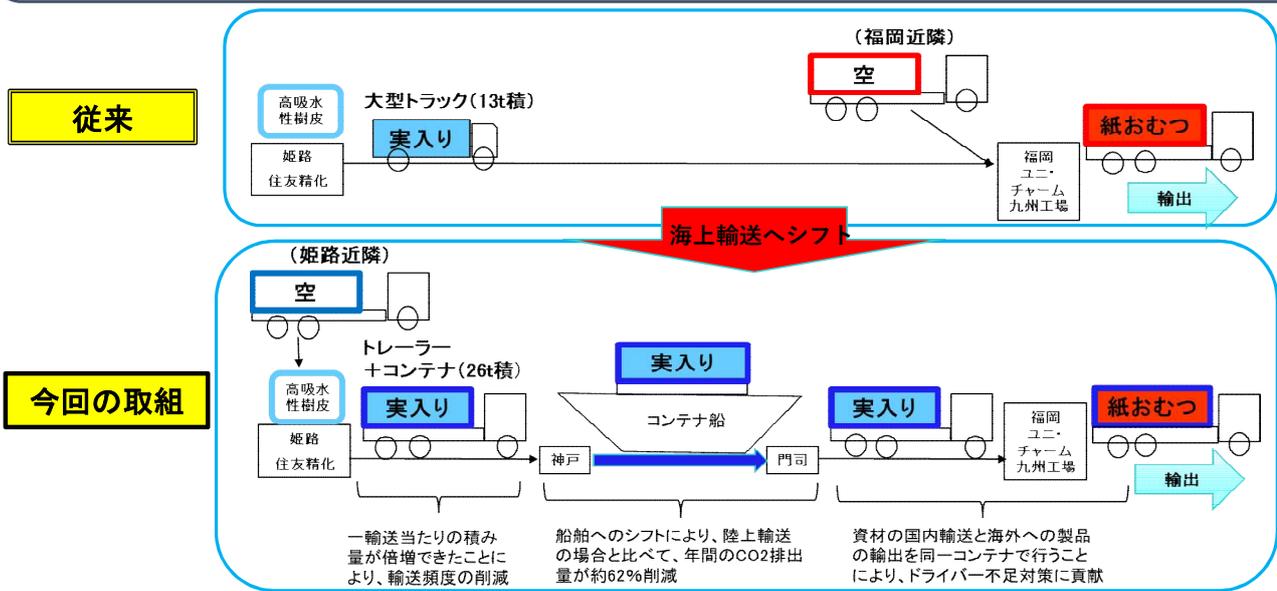
1. 海運モーダルシフト大賞 4社

番号	推薦者	受賞者(海運モーダルシフト大賞)		概要
		荷主 主要輸送品目	物流事業者	
1	井本商運(株)	住友精化(株) ユニ・チャームプロダクツ(株)九州工場 ／高吸水性樹脂(紙オムツ資材)	(株)日立物流 (株)バンテック	<p>【評価】 住友精化(株)姫路工場(兵庫県姫路市)で生産された高吸水性樹脂(紙オムツ資材)(年間4,157t)を着荷主ユニ・チャームプロダクツ(株)九州工場(福岡県京都郡苅田町)までのトラックでの陸送(片道470km)の全部をコンテナ船を利用する輸送(神戸～門司)にシフト(海上輸送利用率100%)。これにより、陸上輸送の場合のCO2排出量440t/年に対し、同168t/年に削減された(CO2削減率61.8%)。</p> <p>【革新的な取組み等】 住友精化(株)姫路工場からユニ・チャームプロダクツ(株)九州工場まで陸送していた高吸水性樹脂を海上コンテナを使用した船舶輸送に転換することで、1輸送あたりの輸送量を13t/車両から26t/コンテナへと倍増させた。輸送を請け負う日立物流グループ(株)日立物流及び(株)バンテックは、免税コンテナを国内輸送にも活用するために、コンテナ使用に関して外航コンテナ船社とも調整を行い、住友精化(株)からユニ・チャームプロダクツ(株)までの紙おむつ資材の国内輸送とユニ・チャームプロダクツ(株)から海外への紙おむつ製品の輸出を同一コンテナで行うというスキームを実現させた。</p> <p>【事業者の取組概要】 住友精化(株)は、着荷主や物流事業者と連携しエネルギー消費効率の良い輸送への転換を進めている。ユニ・チャームプロダクツ(株)は、2030年に向けCO2削減目標を定め原料調達時のCO2削減に取り組んでいる。日立物流グループは「環境中長期目標」を策定し、2030年CO2排出量50%削減、2050年カーボンニュートラルを目指している。</p>



取組みのポイント

従来、国内輸送はトラック、輸出にのみコンテナを活用し、輸送の非効率が生じていたところ、紙おむつ資材工場(姫路)周辺で免税コンテナを調達し、国内輸送・輸出を同一コンテナで行うことにより、一輸送当たりの積み込み量の倍増による輸送の効率化、コンテナ船での輸送によるCO2削減を実現



住友精化(株)

<https://www.sumitomoseika.co.jp/>



ユニ・チャームプロダクツ(株)九州工場

<http://www.unicharmproducts.co.jp>



(株)日立物流

<https://www.hitachi-transportssystem.com/jp/>



(株)バンテック

<https://www.vantec-gl.com/japanese/>

2. 局長表彰 6社

番号	推薦者	受賞者		概要
		荷主	物流事業者	
		主要輸送品目		
2	(株)名門大洋フェリー	ハウス食品(株) ／加工食品	F-LINE(株)	<p>【評価】</p> <p>ハウス食品(株)奈良工場などで生産された加工食品(年間2,377t)を福岡の配送拠点(福岡県福岡市)までのトラックでの陸送(片道630km)の一部をフェリーを利用する輸送(大阪～新門司)にシフト(年間1,083t)(海上輸送利用率42.4%)。</p> <p>これにより、全部が陸上輸送の場合のCO2排出量337t/年に対し、一部をフェリー利用する場合は同227t/年に削減された(CO2削減率32.7%)。</p> <p>【事業者の取組概要】</p> <p>ハウス食品グループ本社は、食品企業5社で2019年4月に物流事業会社「F-LINE株式会社」を設立し、ドライバー不足、物流コスト上昇、CO2削減をはじめとする環境保全への対応など、物流環境を取り巻く多くの課題に対応するため持続可能な加工食品物流体制を実現するため協働で取り組みを進めている。</p> <p>また、製品の輸送においてモーダルシフトに努めており、各工場で生産される製品を配送拠点まで輸送する幹線輸送では、これまで鉄道を積極的に利用しているが、今年度からは船舶輸送も取り入れ、モーダルシフト率の更なる向上に取り組んでいる。</p> <p>F-LINE(株)は、関東地区⇄北海道地区、関西地区、九州地区や関西地区⇄北海道地区、九州地区など輸送距離が500km以上の長距離輸送に船舶や鉄道を利用しており、海上輸送においてはフェリー、RORO船を活用したトレーラーによる輸送を主たる手段とし、20以上に及ぶ航路を定期的に活用し、個々の輸送ルート毎に最適な航路を選定している。また、近年頻繁に発生し且つ甚大化する自然災害による輸送ルートの寸断に対し、日頃より輸送ルートを複線化をすることにより、非常時にも運び続ける体制作りを進めている。</p>





令和3年度 エコシipp・モーダルシフト事業優良事業者
海事局長表彰受賞者一覧

番号	推薦者	受賞者(優良事業)		概要
		荷主	物流事業者	
		主要輸送品目		
3	新日本海フェリー(株)	オリオン機械(株)生産本部 資材部 ／ジェットヒーター	センコー(株) マテリアル物流営業本部 住宅物流営業部	<p>【評価】 オリオン機械(株)須坂本社工場(長野県須坂市)で生産されたジェットヒーター(年間500t)を北海道エリア(北海道札幌市)までのトラックでの陸送(片道1,072km)の全部をフェリーを利用する輸送(新潟～苫小牧)にシフト(海上輸送利用率100%)。</p> <p>これにより、陸上輸送の場合のCO2排出量125t/年に対し、同45t/年に削減された(CO2削減率64.1%)。</p> <p>【事業者の取組概要】 オリオン機械(株)は、国産初の製品を多く手がけ、近年は空調機器と省エネ技術を更に進化させ、地球環境に配慮した製品開発を進め着々と商品化を実現するとともに、環境についてのISO14001認証取得やSDGs推進企業としての登録を済ませ、全社で温暖化防止や省エネルギー対策に取り組んでいる。今回、須坂本社工場で製造しているジェットヒーター等の配送について、北海道エリアへの長距離輸送をフェリーを利用したモーダルシフトを進めている。</p> <p>センコー(株)は、国内外のサプライチェーンマネジメント構築に向けた効率的な物流システムの確立、地球に優しい環境型社会実現への貢献、国際化への体系的な物流システムの構築など、お客様企業・社会にとって常にお役に立てるロジスティクスのベストパートナーを目指しており、海上運送ではフェリー・RORO船・コンテナ船などを利用した効率的なモーダルシフト輸送を積極的に推進している。</p>



ORION
冷熱と真空でイノベーション
オリオン機械(株)生産本部 資材部
<https://www.orionkikai.co.jp/>

センコー
センコー(株)マテリアル物流営業本部 住宅物流営業部
<https://www.senko.co.jp/>

令和3年度 エコシップ・モーダルシフト事業優良事業者
海事局長表彰受賞者一覧

番号	推薦者	受賞者(優良事業)		概要
		荷主	物流事業者	
		主要輸送品目		
4	商船三井フェリー(株)	(株)セコマ ／牛乳	(株)オリタ物流	<p>【評価】 (株)セコマの商品である豊富町(北海道天塩郡豊富町)で製造された牛乳(年間6,480t)を関東の拠点(千葉県市原市)までのトラックでの陸送(片道1,470km)の一部をフェリーを利用する輸送(苫小牧～大洗)にシフト(年間4,920t)(海上輸送利用率72.5%)。</p> <p>これにより、全部が陸上輸送の場合のCO2排出量2,013t/年に対し、一部をフェリー利用する場合は同1,156t/年に削減された(CO2削減率42.6%)。</p> <p>概要: (株)セコマは、北海道の農産、水産加工、食品・飲料製造会社等の新鮮で良質な食材や、それらを使った品質の高い食品をSecomaブランドとして安定的に提供し、食品メーカーとしての機能と価値を高めるとともに、お客様に喜ばれ、北海道の魅力を上げていける商品の企画開発にも力を注いでいる。また、生産・流通過程の環境負荷低減のため、3R(リデュース、リユース、リサイクル)、フードロス削減に取り組んでいる。物流部門においては、長距離輸送における海上輸送モードの利用を促進しており、その一環として、北海道・豊富工場で製造された牛乳の関東地区向け輸送においてグループ企業のオリタ物流とともにフェリーによる海上輸送化率の大幅アップを実現した。</p> <p>(株)オリタ物流は、Secomaグループの一員として、北海道内の主要12箇所、本州4箇所の物流センターを拠点に、独自に構築した物流ネットワークをフルに活用して、セイコマートへの商品輸送にとどまらず、他社の商品・店舗などあらゆるニーズに応える物流サービスを広く提供しており、海上輸送用のトレーラーも年々増車し、荷主企業とともにモーダルシフトを推進し、北海道・豊富工場から関東地区向けの輸送比率を増加させている。</p>
		<p>(株)セコマ https://secoma.co.jp/</p> <p>株式会社オリタ物流 (株)オリタ物流 https://www.orita-logi.co.jp/</p>		